

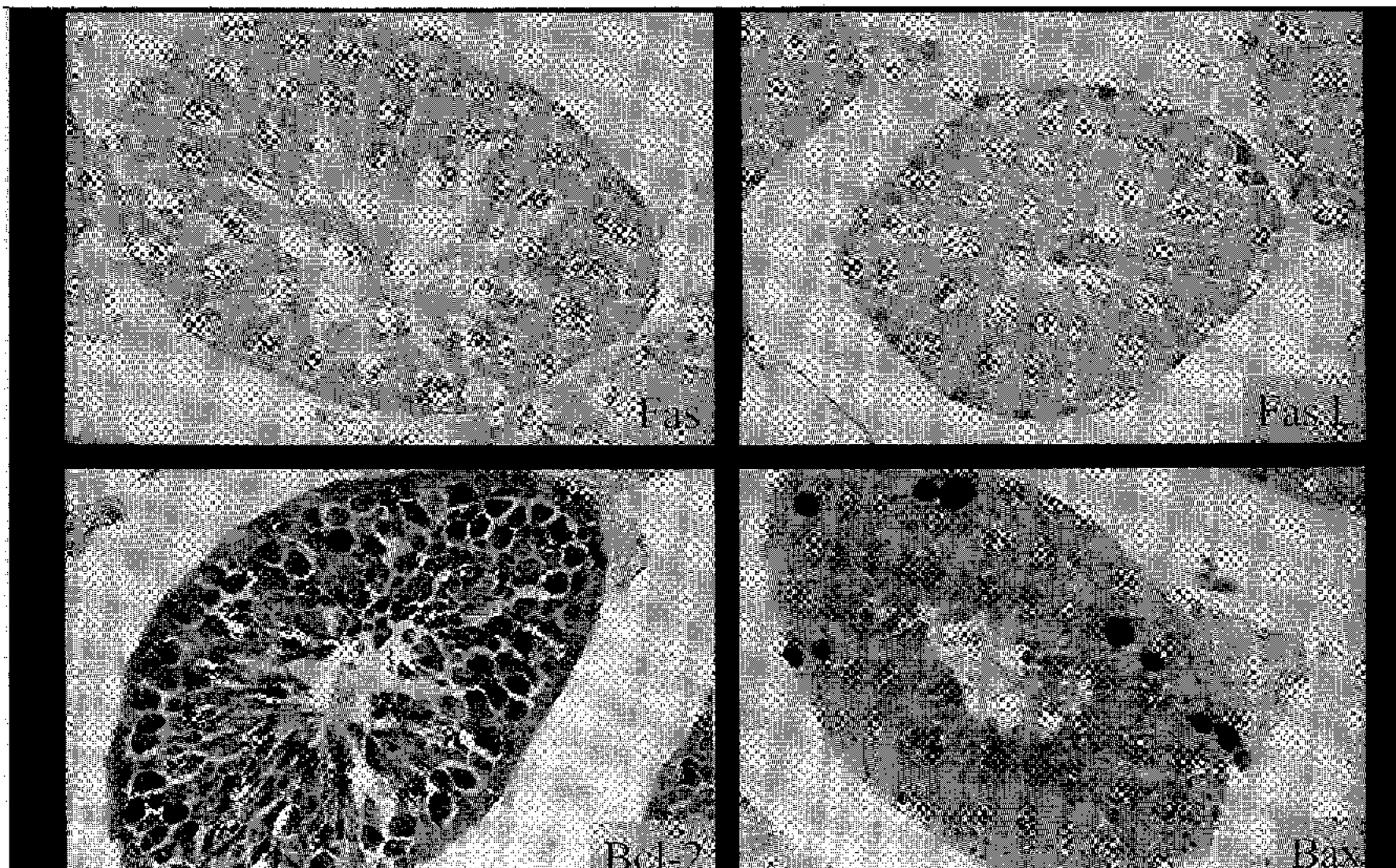


図2：DES 投与精巣におけるアポトーシス関連遺伝子発現

成熟雄マウスにDES を 20 mg/kg 体重で5日毎に皮下投与し、初回投与から20日目に精巣を採取しパラフィン切片を作製した。アポトーシス関連遺伝子としてFas、Fas L、Bcl-2 及びBax 蛋白の発現を免疫組織化学的に検討した。本投与量では、TUNEL 陽性細胞数が極大を示しているが、その結果と一致して、Fas の生殖細胞での顕著な発現誘導とBax 発現の増大が認められた。また、Fas Lは正常精巣と同様にSertoli 細胞に特異的に発現していた。